

# 那覇国際高等学校

## 学校だより 第8号



南九州総体県高新V!



6月15日付け  
沖縄タイムス記事より

3年3組の喜久里です。目標としていた南九州二冠を達成でき、とても嬉しいです！調子も上がってきました！高校生活の集大成として、競技に向き合っている感謝の気持ちや楽しさを噛み締めながら、全国大会の福岡の地でBIG JUMPしてきます！！



TRIPLE JUMP

陸上の「全国高等学校対抗選手権大会南九州地区予選」が6月14日、宮崎県の「ひなた陸上競技場」で開催され、本校の喜久里彩吹さん(3年3組)が女子三段跳びで12m39cmを出し、自身が持っている県高校記録と大会記録を更新して見事「優勝」しました。また、喜久里さんは前日に行われた走り幅跳びでも優勝しており、2冠達成となりました。7月末に福岡県にて開催される全国高校総体(インターハイ)へ県代表として派遣されます。

## 県高校総体 学校別総合7位!



男子総合13位 女子総合5位  
本校過去最高成績!

図書委員会企画

## 10代が見た戦争



## NHK杯放送コンテスト 全国派遣

NHK杯放送コンテスト沖縄県大会(6月11日・12日実施)

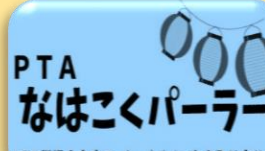
|         |            |             |             |            |
|---------|------------|-------------|-------------|------------|
| アナウンス部門 | 優秀賞(全国派遣)  | 大山笑依(3年2組)  | 優良賞         | 當眞咲歩(3年7組) |
| 朗読部門    | 優良賞        | 成田信頼(3年4組)  | 天久愛詠(2年2組)  | 伊藤美波(3年3組) |
| 研究発表部門  | 最優秀賞(全国派遣) | 赤嶺美耶里(3年1組) | 砂邊璃々亜(3年1組) |            |
|         |            | 當眞咲歩(3年7組)  | 伊藤美波(3年3組)  |            |

## 本校卒業生による本の寄贈



「90歳のおばーのゴキゲンなひとり暮らし 孤独を吹き飛ばして幸せに生きるヒケツ」(大田吉子 著)の本がお孫さんであり、本校の卒業生でもある大田浩之さんにより本校の図書館へ寄贈されました。おばーのこれまでの人生や元気のヒケツ、「おばーがズバリ回答!お悩み相談」など、盛りだくさんの内容となっています。是非、図書館へ足を運び読んでみて下さい。

PTA  
バザー  
大好評!



6月15日に開催された「那覇国際」に、PTA主催による「なはこくパーラー」がセミナーハウスにて開かれ、やきとりやポップコーン、おにぎりセット、伊良部島名物のうずまきパン、飲み物等が販売され多くの客で賑わいました。

## 今後の行事予定

- 7月
- 2日(火) 小論文講演会(3年生希望者)
  - 6日(土) 総合学力記述模試(3年必修)  
総合学カテスト(1・2年必修)
  - 12日(金) 校内弁論大会(2~4校時)  
2学期HR役員
  - 13日(土) 第1回大学別模試(3年希望者)
  - 14日(日) 琉球大学オープンキャンパス
  - 15日(月) 海の日(公休日)
  - 18日(木) 校内英語弁論大会(2~4校時)
  - 20日(土) 全統共通テスト模試(3年希望者)
  - 21日(日) 数学検定試験
  - 22日(月) 三者面談(~31日)  
夏期前期希望者講座(~31日)  
第2回校内大学説明会(~25日)
  - 27日(土) 第1回大学別模試(3年希望者)
  - 31日(水) 1学期終業式

## 合格体験記7 (立教大学 経済学部経済学科 指定校)



### (1)この大学(学科)を選んだ理由

私は将来、日本の多国籍企業に就職し、日本と海外を繋ぐ懸け橋のような存在になりたいと考えています。そこで、立教大学経済学部の経済学の本質を学びつつ、国際的な視野を広げることができるカリキュラムを受けたいと強く感じたため、入学を志願しました。特に、国際経済論、国際貿易論、また英語で履修可能な授業を通して、国によって異なる経済システムを深く理解できると感じました。また、キャリア教育を1年次から参加できることで、実践力を育み、卒業後のビジョンを明確にできると考えました。

### (2)高校在学中の勉強方法について

入試方法の幅を広げることができるように、1年生のときから、定期テストや提出物を大切に取り組むことを意識していました。また、自分の好きな科目や授業を見つけて、勉強に対してのモチベーションを定期的に上げていました。特に、数学は友達と色々な解法を試してみ、教え合うことで楽しくなっていたこともあります。

### (3)後輩へのアドバイス

部活動や学校行事、校外活動において、楽しむことを第一に取り組むことができたため、日々の学校生活や勉強を乗り越えることができたと感じています。私がそうできたのは、周りの友達や相談を聞いてくださる先生方のおかげなので、とても感謝しています。また、校外活動としては、カケハシ・プロジェクトに参加できたことが、進路を決める上でのきっかけの一つとなり、自分自身の興味のあることに積極的に参加する大切さも学びました。

### (4)その他

進路先を決めるにあたって、自分の興味のあること、将来の夢を見つけることは凄く難しいと思います。その中で、様々なプログラムに参加したり、好きなことを突き詰めることで、少しずつ明確にすることができると思うので、気負わずにチャレンジしてみてください!また、早めに大学調べをして、情報を整理していると、時間をかけて、自分が大学でやりたいことについて、焦点を定めることができると思います。モチベーションも高まるので、少しずつやってみてください。応援しています。

本校24期生(令和6年3月卒業) 女 性

## 名言・名句

Architectural space  
is not just a means.

建築空間は  
単なる手段ではない。



### 【解説】

これは日本の建築家であり、今年3月に「建築界のノーベル賞」の呼び声も高いアメリカの「プリツカー賞」に選ばれた山本理顕氏の言葉である。彼が設計した建物には、横須賀美術館やスイスにあるチューリッヒの複合施設「ザ・サークル」等があります。また、「半沢直樹」や「相棒」などのテレビドラマのほか、映画、CM等のロケ地として使われている埼玉県立大学のキャンパスも彼が設計したものです。